

第1回棟方志功記念館建物利活用意見聴取会議 での御意見への対応について

番号	意見の概要	意見への対応
1	棟方志功は自分が何かやっていく段階でいろんな人を巻き込んで、自分で美術団体を作ったり、美術展をやったり、子どもたちの展覧会をやったりといろんなことをやって街を巻き込んでいった。今回の展示では、あくまで棟方志功を中心とした展示となるものの、棟方志功を中心にいろんな人たちを巻き込んで、ある種、街のオーガナイザーであったような新しい一面を紹介できるのではないかな。また、市が所蔵している他の作家の美術作品や以前稽古館にあったような文化財なども紹介する形で展示を構成し、棟方志功を中心に青森市の文化全体を見直せるような展示にできればよいのではないかな。	2) 志功を知る
2	県立美術館でも展示をしているが、常設展で場所も限られているため作品を中心に見せている。記念館は建物全体でやれるので、ビジュアル的な資料というか映像を作ったり、体験型のゲーム感覚で楽しめる展示構成をしたり、費用的な問題もあるが、通常の美術館にとらわれないような展示の仕方を工夫してもよいのではないかな。棟方志功という人は慣行にとらわれず新しいものを作った人なので、新しいものを取り入れて、若い人たちにこれからを繋げていくようなもので大胆なことを考えてよいと思う。	1) 志功を観る
3	松原地区は、幼稚園から高校までそろった地区である。この施設を使って何かできないか町会でも考えているが、 ¹⁾ 映像を使って棟方志功の生涯を紹介したり、 ³⁾ 版画によるワークショップをするなどして、 ^{1.} 子どもたちに世界的な版画家である棟方志功を伝えていけるような施設にしてほしい。	1. 棟方志功記念館利活用の基本的な考え方 1) 志功を観る 3) 志功を体験する
4	版画の街・あおもり実行委員会では中学生向けの版画講座や高校生向けの多色版画講座、「はがきで送る」版画で青森コンテストを実施しているが、ワークショップを行うにあたり、こういった組織も活用してはどうか。	3) 志功を体験する
5	松原地区には、棟方志功記念館の他、中央市民センターや旧市民図書館もあり、全部を含めた文化芸術パークのようなものになってもらいたいと考えている。	1. 棟方志功記念館利活用の基本的な考え方
6	^{1.} 棟方志功のファンはシニアが多く、この先を考えると、若い人たちにどういうふうに志功を理解してもらえるかを考えていかなければならない。広島県三次市の湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）は、年間5万人が訪れており、記念館より少し広いくらいのスペースではあるが、デジタルやアナログでビジュアル的にきちんと見せており、参考となるのではないかな。例えば、 ²⁾ 年表を展示しても子供たちは字面を見ないので、タッチパネルで触って動くものであったり、視覚で感じる展示の仕方はある。 ¹⁾ 普通の美術館みたいに作品をただ展示するのではなく、デジタルを活用し動いたり触れたりするものや、アナログでもゲームで遊べるようなものにするなど考えてみれば面白いと思う。	1. 棟方志功記念館利活用の基本的な考え方 1) 志功を観る 2) 志功を知る

番号	意見の概要	意見への対応
7	棟方志功は ⁵⁾ 版画だけではなく、倭画や書があったり、お茶が好きだったりと様々な側面を持っており、そういった棟方志功がやってきたもののすべてを庭を活用し体験しながら、感性を磨く場所になればよい。そういった意味で ³⁾ ワークショップの作り方や楽しみ方を工夫していけばよい。	3) 志功を体験する 5) 志功を想う
8	²⁾ 長島小学校に「おもだかの間」がある。教室も学校も古くなっており、今後の維持を考え記念館に移して再現すれば、 <u>1. 記念館を「聖地」とすることができるのではないか。</u>	1. 棟方志功記念館利活用の基本的な考え方 2) 志功を知る
9	建物の改修に制限はあるが、 <u>ワークショップや体験活動は欠かせない</u> と思う。限られたスペースを最大限どう活かすかが大事である。	3) 志功を体験する
10	<u>建物のバリアフリーもしっかり行うべきである。</u>	2. 施設整備全般について
11	¹⁾ 映像を活用した棟方志功そのものを紹介するコーナーを設置したり、 ²⁾ 作品の展示は作品の中からローテーションで展示する作品を <u>変える</u> という方法も考えられるのではないか。	1) 志功を観る 2) 志功を知る
12	ワークショップで作品を作るのもよいが、子どもに関心を持ってもらうために、 ⁴⁾ 子どもたちが各展覧会で入賞した作品を展示したり、 ³⁾ <u>遊びの要素を含んだゲーム感覚のワークショップ</u> といった仕組みも考えられる。	3) 志功を体験する 4) わだば志功になる
13	<u>庭園は棟方志功自身の希望によるものが多く入っていると思うので、それを活かしていけばよいと思う。</u>	5) 志功を想う
14	長島小学校にある「おもだかの間」は、入ったとたんに棟方志功を感じられるムードがあるので、そういったムードがあるもので構成していけばよいのではないか。	2) 志功を知る
15	展示については、以前のもと同じ展示ケースに入るとなると、 <u>本物を近い距離で見ることができる展示</u> になると思う。面積が少ないとか様々な意見があるとは思いますが、近いところで画伯の迫力を体感できる展示になると思う。 <u>本物に勝るものはないと考えている。</u>	2) 志功を知る
16	自分も子供の頃に、 ¹⁾ 画伯が一心不乱に版画を彫る映像に魅了された。そういうものを見て、 ³⁾ <u>ワークショップで同じ体験ができれば、子どもたちの心に残って、また来ようという思いになると思う。</u>	1) 志功を観る 3) 志功を体験する
17	松原地区は交通の便がよいので、 ³⁾ ⁴⁾ <u>中学生に放課後や休みの時間帯にワークショップのお手伝いをしてもらうこともできるのではないか。</u>	3) 志功を体験する 4) わだば志功になる
18	デジタルに関しては、子どもたちが扱いに非常に長けているので、 <u>自分のパソコンを持ってきて何か資料が見れるような展示</u> もできるのではないか。	1) 志功を観る
19	数多くの板画家を輩出した青森市であるが、名誉市民第一号の棟方志功は別格の扱いに値するので、 <u>志功の名前が残る館にしたい。</u>	3. 施設名称について
20	「おもだかの花」の美しさに魅了されて、心を奪われ、 <u>絵を描こうとした原点が庭にあると思う。志功の絵を鑑賞するための所作ともいえる花をいつくしむ気持ちをもって館に入る一連の環境を整えてほしい。</u>	5) 志功を想う
21	スペースが限られている中、 <u>デジタルなど新たな要素を加えてバージョンアップさせていく</u> というのはよい視点だと思う。	1) 志功を観る